架け橋期のカリキュラム作成の視点（参考資料）

幼保小が協働し、共通の視点を持って教育課程や指導計画等を具体化できるよう、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を手掛かりとし、育成を目指す資質・能力を視野に入れながら策定できるよう、「架け橋カリキュラム（参考資料）」を作成しましました。

下に示したものは、あくまで作成の視点の参考であり、「項目」や「内容」について幼保小の先生が一緒に考え、評価し、改善・発展させていくことが大切です。

施設 対象 時期 （項目例）	幼稚園・保育所・認定こども園 5歳児 4　5　6　7　8　9　10　11　12　1　2　3	小学校等 1年生 4　5　6　7　8　9　10　11　12　1　2　3
①期待するこども像	作成の視点：市町村の教育計画や小学校区の課題などを参考に、できるだけポイントを絞り、共通で取り組める具体的なこども像を設定する。 例：主体的に遊びや学びに取り組む子　　みんなと楽しみながら関わり、相手を思いやる子　　地域の伝統や文化のよさを知り、郷土を愛する子　　など	
②遊びや学びのプロセス	作成の視点：幼児期における遊びや生活を通して総合的に学ぶことを基に、こども像を達成するために大切にしているポイントなどを簡潔に示す。（下記例末尾は10の姿の項目より） 例：自分の役割を自覚し、責任をもって果たそうとする。（自立心） 身近な環境にかかわる中で、不思議に思ったことを探求しようとする。（思考の芽生え） 言葉を通して先生や友達と心を通わせるようになる。（言葉による伝え合い）	作成の視点：小学校における各教科等を系統的に学ぶことを基に、こども像を達成するために大切にしているポイントを簡潔に示す。（下記例末尾は教科と資質・能力の3観点より） 例：経験したことや創造したことなどを進んで書こうとする。（国語：思考・判断・表現） 自分たちの遊びや生活をよりよくしようとする。（生活科：思考・判断・表現） 気持ちのよい挨拶、言葉遣いなどを心がけて、明るく接する。（道徳：学びに向かう力）
③園での活動・小学校での単元構成等	作成の視点：こども像の育成を目指すために、関連する主な遊びや活動などの例を具体的に示す。また、小学校での学習や生活を見通した遊びや活動、園生活なども含めてもよい。 例：見たことや感じたことなどを言葉で表現しながら遊ぶ（ごっこ遊び、砂場遊び　4～7月） 絵本や紙芝居など楽しんで見たり聞いたりする（通年） サークルタイムなどで自分の意見や友達の意見を聞いて発表する（通年） 地域の○○祭りに参加（8月）	作成の視点：こども像の育成を基に、生活科を中心に幼児期の体験や、園での遊びや生活、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」などを踏まえた指導の例を具体的に示す。 例：幼児期に親しんできた手遊びや歌を歌う（4月） 「がっこうだいすき　なかよしいっぱい」（合科20時間　4月） 「おもしろい遊びがいっぱい」（生活科6時間　7月） 「すなやっちとなかよし」（図画工作2時間　5月）
④指導上の配慮事項 （活動や単元等に対する配慮事項）	作成の視点：「③園での活動」における5歳児との保育者の関わり方や環境構成の具体を示す。 例：自分とは違う考えや気持ちがあることに気付けるよう、自分の思いを話したり、友達の願いを聞いたりする場を設定する。 絵本コーナーを設け、落ち着いてじっくりと絵本に親しめるような雰囲気づくりをする。	作成の視点：「③単元構成」における1年生と教職員の関わり方の具体を示す。 例：導入段階で幼児期の経験を聞取り、授業に生かしていく。 一緒に活動を楽しむ。 全教職員に活動の意図などを伝えて、学校全体の協力体制を作る。 作成の視点：安心して活動できる環境や主体的に学びに向かう環境の具体を示す 例：手遊びや歌の掲示物をつくったり、教室内に遊びのコーナーを設置したりする 教職員の顔写真や時間の流れを掲示物で示す。
⑤職員・こどもの交流	作成の視点：職員の交流は、幼保小の職員間で行う交流の具体例を示す。　　こどもの交流は、5歳児と1年生などの交流の具体例を示す。 例：職員交流 小授業参観（4月）　架け橋会議（5月）　合同研修会（6月）　園保育参観（8月）　園ドキュメンテーションの掲示（9月～10月）　評価会議（1月）　引継ぎ会（2月） 4月　5月　6月　7月　8月　9月　10月　11月　12月　1月　2月　3月 例：こどもの交流　　半日体験入学　　「秋の遊び」保育授業交流　　小「ようこそ○○ランドへ」交流	
⑥家庭・地域との連携	作成の視点：保護者との連携場面の具体を示す。 例：活動の中で見られるこどもの良い姿を伝え、成長を共に実感する。（園だより、ドキュメンテーション、懇談会等） 保護者に架け橋期のカリキュラムの理解と小学校入学に向けての準備（懇談会・たより等） 地域活動への参加	作成の視点：保護者や地域との連携場面の具体を示す。 例：保護者に架け橋期のカリキュラムの理解と教育活動の連携した取組の紹介（学校だより等） 地域活動への参加